

# 令和元年度第1回総合教育会議

## 学校教育部 説明資料

### I プログラミング教育について

- 1 プログラミング教育の内容、効果
- 2 プログラミング教育の進捗状況、今後



### II 教育相談体制について

- 1 教育相談体制の取り組み
- 2 教育相談体制の連携（学校、関係機関との連携、体制づくり等）

### III 不登校・いじめについて

- 1 不登校等の状況と未然防止及び対応について
- 2 いじめ等の未然防止、支援及び対応について
- 3 前回（H30.12.27開催）の議題の進捗状況について

（その後の状況、他に良い参考例があるか、市として今後の対応）

# I - 1 プログラミング教育の内容、効果

## ①プログラミング教育のねらい

- 1 「プログラミング的思考」を育む。
- 2 プログラムの働きやよさ、情報技術によって支えられていることなどに気付く。
- 3 教科等での学びをより確実なものとする。

**コンピュータを理解し、上手に活用していく力を身に付けることは、将来どの職業に就くとしても、重要。**

- ・ 5年算数「正多角形と円」
- ・ 6年理科「電気の利用」
- ・ 総合的な学習の時間などでプログラミング教育を実施する。



# I - 2 プログラミング教育の進捗状況、今後

## ①プログラミング教育の今後の予定

### ■令和元年度

- 8月 第1回プログラミング教育研修会
- 10月 第2回プログラミング教育研修会
- 11月 5年算数、6年理科、総合的な学習の時間等で活用できるロボットプログラミング教材を各小学校に8台程度配置。



### ■令和2年度

- 4月 小学校プログラミング教育全面実施



鴨川小 平成30年度 県プログラミング教育推進事業研究指定校  
令和元年・2年度 国立教育政策研究所教育課程研究指定校  
(総合的な学習の時間におけるプログラミング学習)

## Ⅱ - 1 教育相談体制の取組

### ① 子供に関する多様な相談体制

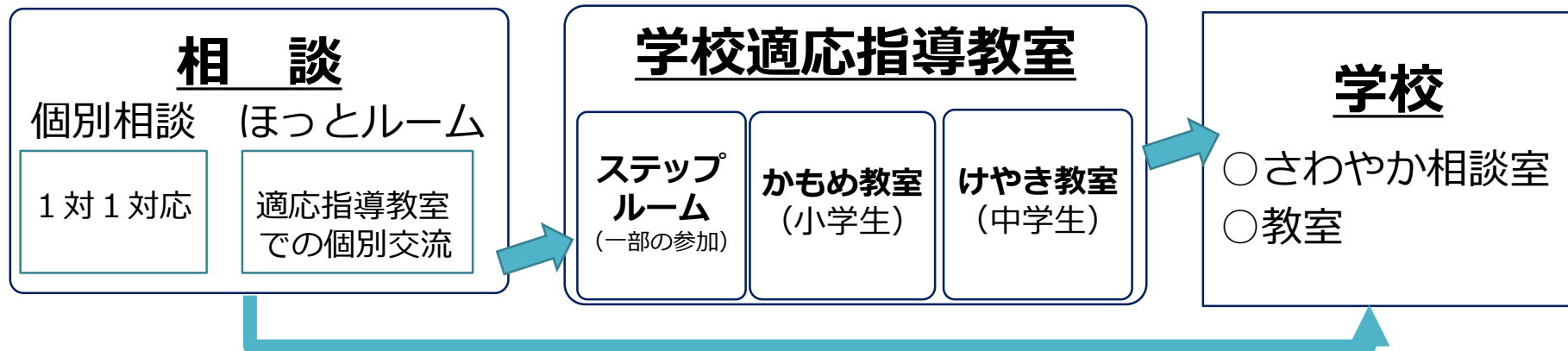
電話相談

来所相談  
(通所相談)

訪問相談

電子メール  
相談

### ② 学校復帰を目指した**スモールステップ**による支援



### ③ **アウトリーチ型支援の充実**

- 相談員・指導員による家庭訪問
- スクールソーシャルワーカーの派遣
- 情報共有等を行う学校でのケース会議

## Ⅱ - 2 教育相談体制の連携

### ① 学校との連携

**学校への連絡を密にし、積極的な指導・支援を行う。**

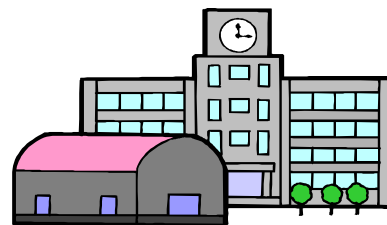
- ・ 通所相談状況、適応指導教室通級状況（毎月）
- ・ 訪問相談（ケース会議）
- ・ 小学校、中学校さわやか相談室訪問（毎学期）



### ② 関係機関との連携

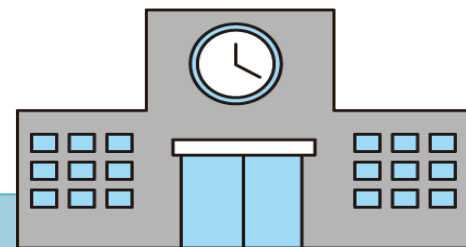
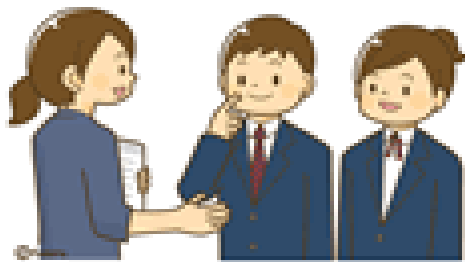
**必要に応じて、福祉関係課や医療機関と連携をはかる。**

- ・ 中央児童相談所
- ・ 子ども若者相談センター
- ・ 保健センター
- ・ 生活支援課



## Ⅲ－１ 不登校等の状況と未然防止及び対応について

- ① 平成30年度 不登校等児童生徒数について（新規・継続）  
（参考資料1）
- ② 不登校総合対策プロジェクト  
（参考資料2）
- ③ 令和元年度 不登校等児童生徒数について（新規・継続）  
（参考資料3）
- ④ 不登校・長欠児童生徒の現在の登校状況  
（参考資料4）

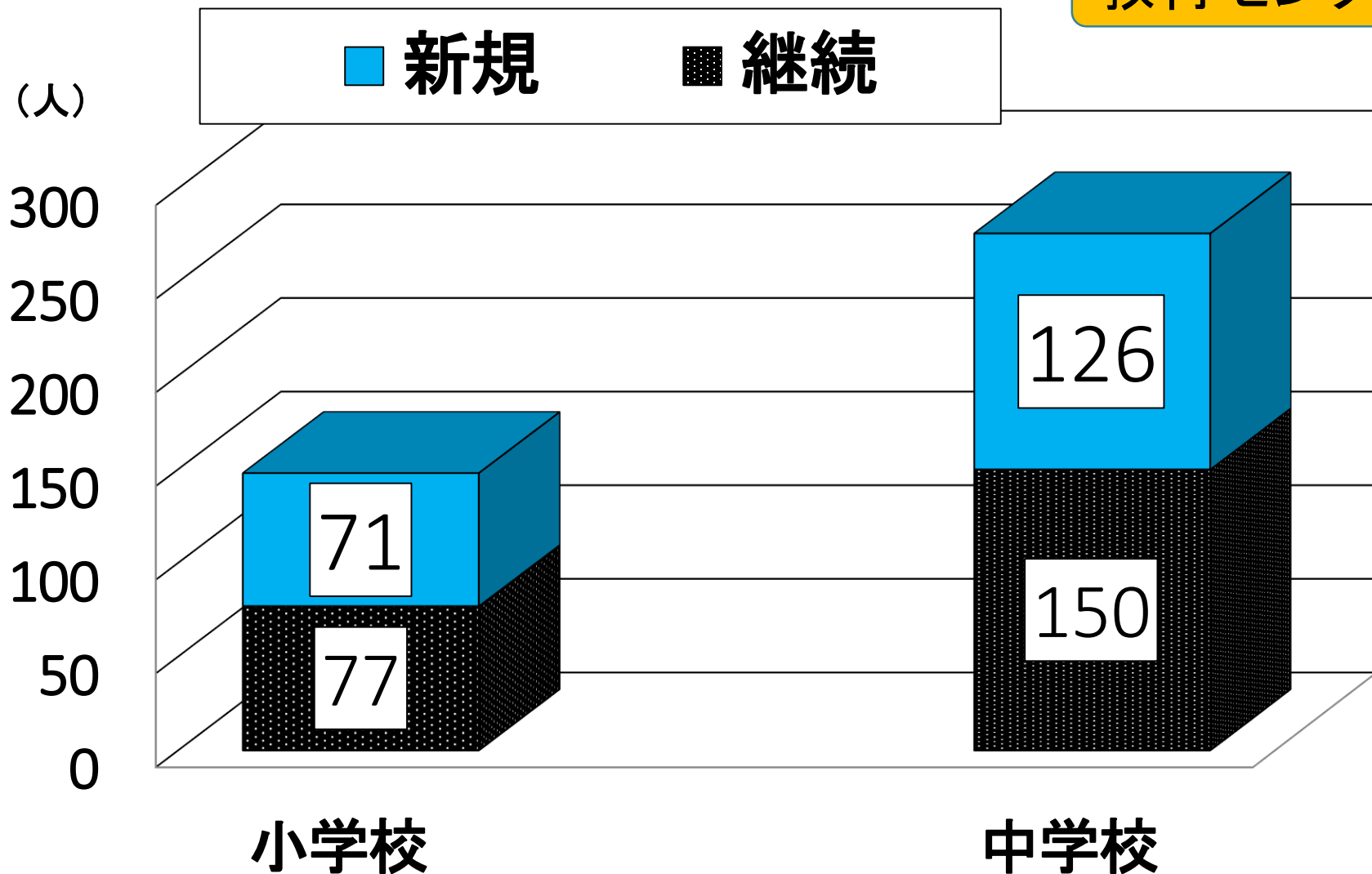


- ・ 新規の不登校を生まない取組
- ・ 学校、関係機関との連携強化による学校復帰

# 平成30年度 不登校等児童生徒数 について(新規・継続)

資料1

教育センター



## 令和元年度 不登校総合対策プロジェクト

教育センター

- ① 正確な児童生徒欠席状況、不登校状況の把握
- ② 魅力ある教育活動のための教職員研修の充実
- ③ 学校、関係機関との綿密な連携
- ④ スクールソーシャルワーカーを活用したアウトリーチ支援の強化

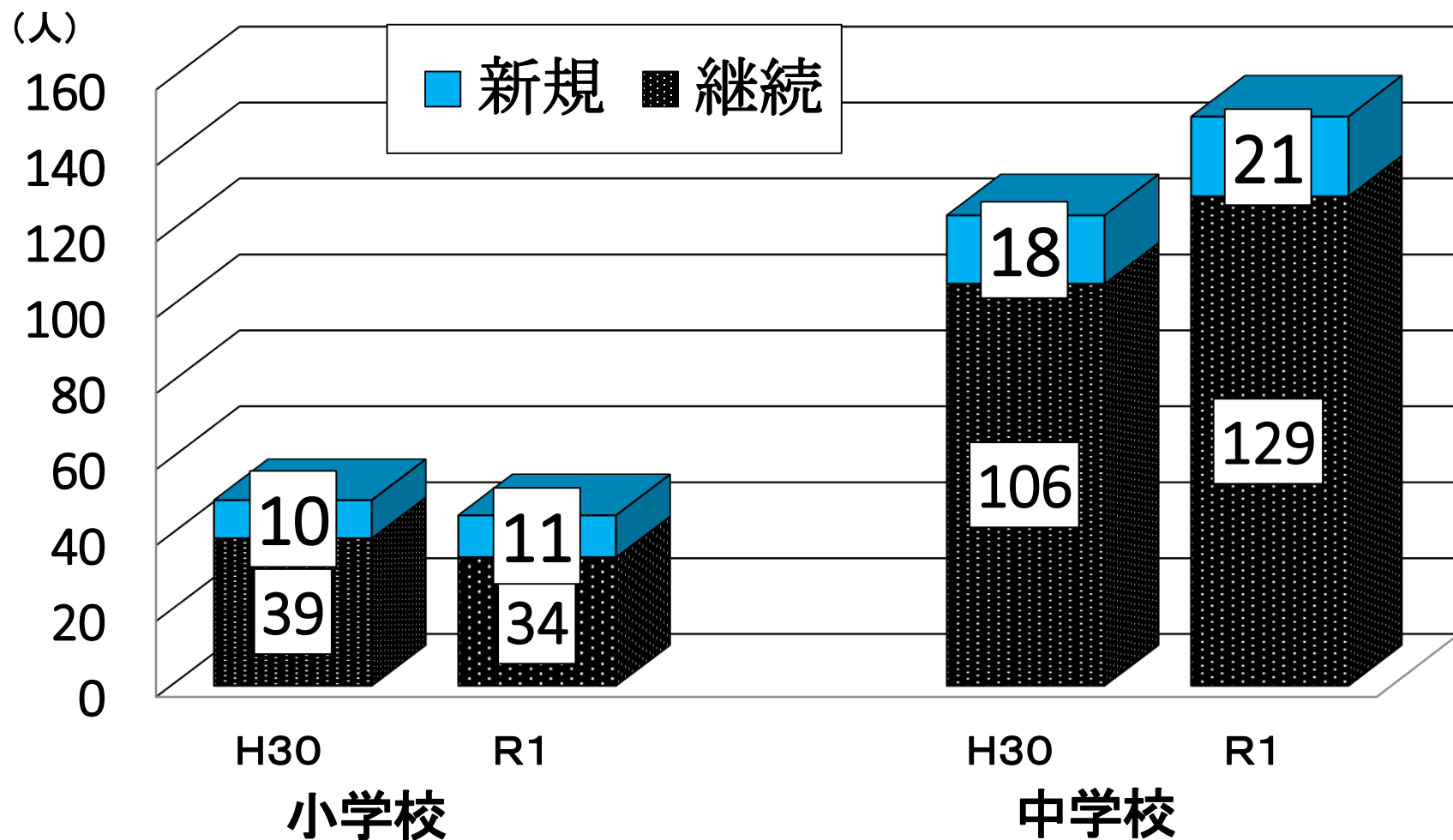


# 令和元年度 不登校等児童生徒数 について（新規・継続）

資料3

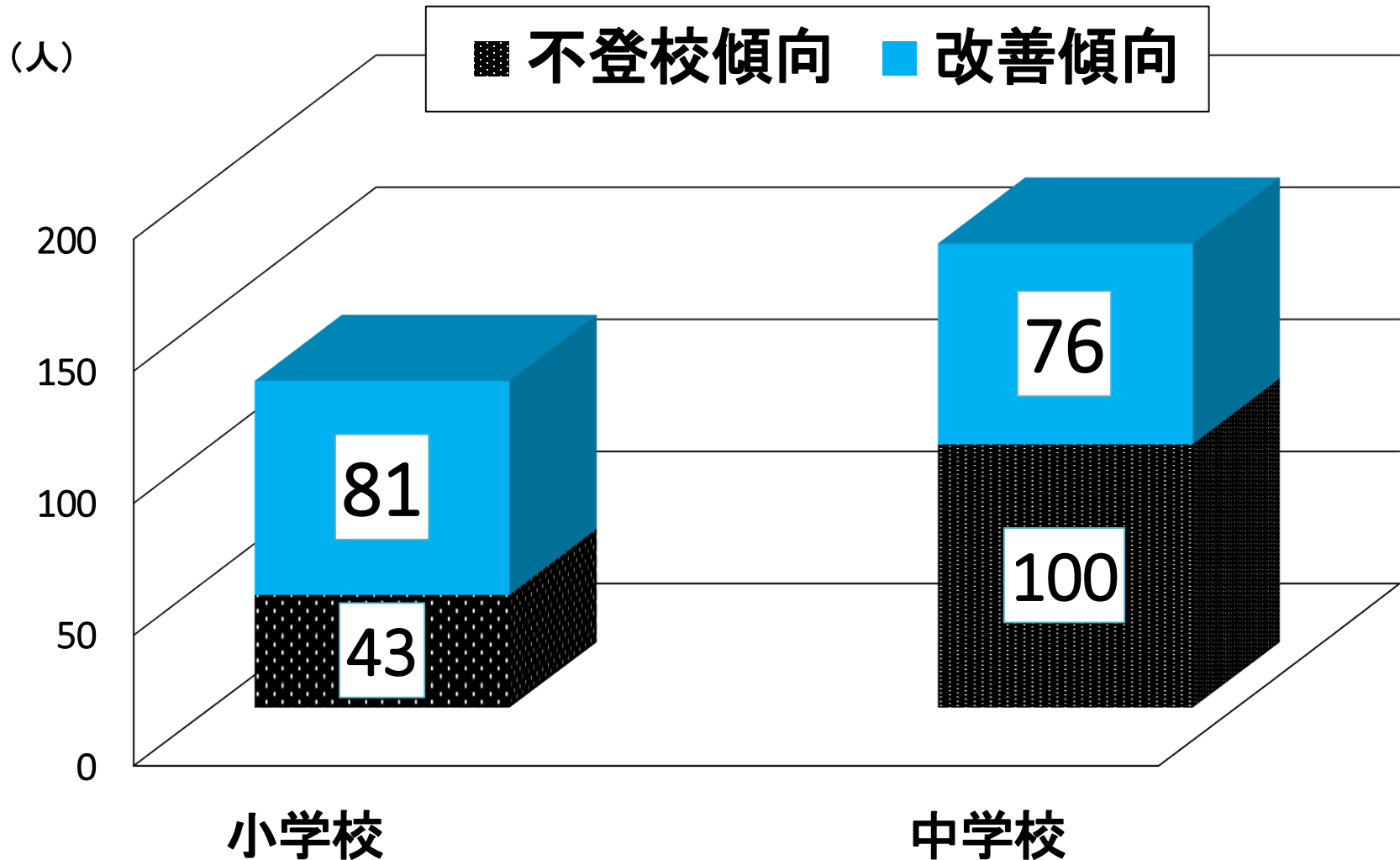
教育センター

令和元年6月末現在



# 平成30年度 不登校・長欠 児童生徒の現在の登校状況(6月末現在)

教育センター



## Ⅲ－２ いじめ等の未然防止、支援及び対応について

- ① 上尾市立中学校ネットパトロール調査（業者委託）
- ② hyper-QU
- ③ CAP研修会
- ④ 「いじめを考える授業（道徳科）」授業研究会
- ⑤ 上尾市「いじめ根絶」小学生サミット
- ⑥ 「夢・感動教育子供すこやかシンポジウム」開催
- ⑦ 上尾地区青少年健全育成地域の集い
- ⑧ 子ども・いじめホットライン・ホットメール
- ⑨ 学校の生活アンケート（児童生徒）及び  
子どものサイン発見アンケート（保護者）
- ⑩ 上尾市いじめ問題対策連絡協議会



- ・ 各校いじめ対策チーム等を組織し、複数対応
- ・ 家庭・地域・関係団体と連携

## Ⅲ－３ 前回の議題の進捗状況について

- ① SNSやメールでのいじめ対策について  
→継続して、取り組んでいる。
- ② 他市や他県のいじめ対策の取組  
→適宜、情報収集し、参考としている。
- ③ 海外でのいじめ対策の取組  
→適宜、情報収集し、参考としている。
- ④ いじめはなぜ発生するのか、  
発生しないようにするためには  
→早期発見、早期対応、見逃しゼロの取組

その後の状況、他の参考例、市としての今後の対応

**いじめ見逃しゼロや自己有用感の育成**

を重視して取り組んでいく。